

優良企業は地元にある！

学生諸君へ！

東京商工リサーチが推奨する
優良企業とは

エラベル (ALEVEL) は、「Aレベル企業を選べる」というコンセプトのもと、信用調査会社ならではの視点で地元の優良企業を紹介し、企業アピールや就職活動をサポートすることを目的に平成2年に創刊、今年で28年目を迎えました。

ここ数年働き場は大都市圏へ一極集中の傾向を強めるなか、昨今では地方創生事業として官民が一体となり積極的に職場づくりに取り組んでおり、地元（ふるさと）で就職する学生も少しずつ増えているようです。しかし、地元企業の採用環境は依然として厳しいのが実情です。いわゆる売り手市場とも言われ、その傾向はますます強まっています。なぜでしょうか。

安定志向の高まりとも言われていますが、規模やネームバリューが最大の要因になっているようです。地場大手と言われるクラスでも、著名な大企業に比べるとネームバリューは劣ります。

しかし、ネームバリューの高い企業や大企業が必ずしもみなさんに合った企業とは限りません。社名はよく知っているが何をしている企業なのか、そこで私たちは何をするのか、よく判らない方も少なくないでしょう。

地元企業には優秀な企業が多くあります。本誌で紹介する「エラベル企業」は東京商工リサーチが調査会社の視点から推奨する地元の優良企業です。

その選ばれた視点を以下にご紹介しますので、ぜひ選択肢のひとつに加えてみてください。

東京商工リサーチの仕事

東京商工リサーチ(以下、TSR)は明治25年創業の日本最古の信用調査会社です。現在、全国80ヶ所の事業所で1,800名の従業員が従事しています。平成6年には世界最大の企業情報サービス会社D&B(本社:米国)と提携し、現在全世界200ヶ国超、2億8,000万件以上の企業情報を提供しています。

TSRの調査員は依頼に基づいて当該企業の会社概要や業績を調べますが、誰が、なんの目的で調べるのでしょうか？

依頼主は様々ですが、最も多いケースは当該企業の取引先です。当該企業と取引をしても問題はないか、信用度を調べるのです。

TSRは得られた情報を調査レポートやデータベースとしてご提供していますが、信用調査を通じて得られた企業情報の数は国内318万社に上ります。

TSR 評点とは

「評点」とは、対象企業を「経営者能力」、「成長性」、「安定性」、「公開性・総合世評」の4つの視点で評価するTSR独自の評価指標であり、その総合点を5つのランクで位置づけます。

■経営者能力(20点)

事業経験、経営姿勢などを主体に経営者の牽引力や業界での影響力などを総合的に判断。

■企業成長性(25点)

商品力や技術力の有無、市場性への適応度合、市場シェアを伸ばす可能性など将来性を加味して、売上伸長率や利益伸長率の実績数値をもとに評価。

■企業安定性(45点)

資本力の充実度や資産背景等の財務内容、金融機関との取引状況などから、トラブルに耐えられる体力を備えているか、現状の経営基盤の安定度を評価。

■公開性・総合世評(10点)

決算資料などの対外的な公開性、風評や噂の有無から内容の信憑性などを判断。

企業信用調査から得られる情報

企業信用調査を通じて得られる情報は多岐に亘ります。企業の沿革や従業員数、事業内容などの基礎的な情報に加え、企業の信用度を図るうえで重要な項目としては以下のような情報があります。

- ・経営者に関すること
- ・業績(売上、利益など)
- ・財務内容(資産や負債など)

こうした情報を総合的に点数化し、企業の信用度合を判りやすく表示しているのが「TSR評点」です。



全国に会社ってどれくらいあるの？

国税庁発表によると全国に約300万社の法人があります。本誌で紹介するエラベル企業は「TSR評点」において上位8%にランクされる企業です。

つまりは、前述した経営者能力、企業の成長性、安定性、公開性・総合世評について一定レベル以上の信用度をもつ企業ということになります。

「地元で働く」という選択

地元にはみなさんの知らない優秀な企業が沢山あります。規模に関わらずキラリと光る何かを持ち活躍している企業、県外は無論、世界に飛び出している元気な企業、そしてこれから飛び出そうとしている企業。みなさんはその主人公として働くことができます。地方創生に携わり、自分の力をダイレクトに活かせる企業を探すのも、「働き甲斐」という観点では面白いと思いませんか。